



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社ミダックホールディングス 上場取引所 東 名
コード番号 6564 URL <https://www.midac.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）加藤 恵子
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営企画部長 （氏名）高田 廣明 TEL 053-488-7173
半期報告書提出予定日 2025年11月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期中間期	5,397	4.9	1,987	4.0	1,975	6.3	1,202	2.0
2025年3月期中間期	5,147	22.7	1,911	41.0	1,859	40.6	1,179	56.5

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,203百万円（2.0％） 2025年3月期中間期 1,179百万円（56.5％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	43.48	43.47
2025年3月期中間期	42.66	42.66

（2）連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		％
2026年3月期中間期	37,349		16,311		43.6
2025年3月期	28,492		15,452		54.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 16,269百万円 2025年3月期 15,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	18.00	18.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	11,617	6.5	4,792	5.7	4,700	5.6	2,930	2.4	105.94

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名）大平興産株式会社

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年3月期中間期	27,773,500株	2025年3月期	27,773,500株
2026年3月期中間期	99,122株	2025年3月期	115,322株
2026年3月期中間期	27,664,473株	2025年3月期中間期	27,658,178株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当中間決算に関する定性的情報」、P3「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、設備投資や個人消費などの内需が底堅く推移するなど景気は緩やかな回復基調であるものの、米国のトランプ政権による関税政策や中東・ウクライナでの紛争など海外情勢の混迷、エネルギー価格を含めた物価上昇の影響などにより、国内外の景気の先行きは不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループはミダックグループ10年ビジョン『Challenge 80th』の実現に向けた第1次中期経営計画のもと、「成長加速のための基盤づくり」のため、既存事業の収益力強化に努めてまいりました。

まずオーガニックグロースにおいては、管理型最終処分場「奥山の杜クリーンセンター」を中心とした廃棄物受託量の拡大に努め、新規大口案件の受託や既存取引先との取引量の拡大により、廃棄物受託量は増加しました。また、同地域内にある管理型最終処分場「遠州クリーンセンター」及び安定型最終処分場「浜名湖クリーンセンター」につきましても、両最終処分場共に埋立容量の増量が完了し、供用を開始しております。

M&Aグロースについては、株式会社フレンドサニタリーにおいてスポット案件における前期からの反動減がありました。遠州砕石株式会社においては、前期の収益向上に貢献した奥山の杜クリーンセンターの第2期～第4期工事で排出される残土の受入れが発生しなかったことから減収となっております。また、最終処分場における戦略的M&Aの一環として、2025年4月に子会社化した大平興産株式会社（千葉県内で管理型最終処分場を運営）については、当第2四半期連結会計期間から損益計算書に連結しております。大平興産株式会社は中長期的な最終処分場の増量に向けて第三処分場第七堰堤工区工事中のため廃棄物の搬入制限を継続しておりましたが、11月より搬入再開を予定しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は5,397百万円（前年同期比4.9%増）、営業利益は1,987百万円（同4.0%増）、経常利益は1,975百万円（同6.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は1,202百万円（同2.0%増）と増収増益を確保し、中間期の売上高、各利益において過去最高を更新しました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 廃棄物処分事業

最終処分場においては、旺盛な埋立需要を背景に最終処分場における廃棄物受託量が増加しました。また、焼却施設を中心とした中間処理施設においても、既存取引先からの受託量は安定的に推移しました。以上の結果、売上高は4,354百万円（同9.5%増）となり、セグメント利益は2,357百万円（同13.5%増）となりました。

② 収集運搬事業

産業廃棄物においては、大口案件の減少等により受託量は前期に比べ減少しましたが、取引先に対する価格転嫁を進めたことで、前期並みの売上を確保しました。一般廃棄物においては、株式会社フレンドサニタリーについては前期に比べスポット案件が減少しました。株式会社ミダックライナーにおいては飲食店を中心とした新規開拓に注力した結果、受託量は前期よりも増加しました。以上の結果、売上高は939百万円（同3.6%減）となり、セグメント利益は209百万円（同26.4%減）となりました。

③ 仲介管理事業

大口案件の獲得により、協力会社への仲介は好調に推移しました。以上の結果、売上高は89百万円（同15.6%増）となり、セグメント利益は53百万円（同26.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は8,635百万円となり、前連結会計年度末に比べ969百万円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少額1,463百万円等によるものであります。

また、固定資産は28,714百万円となり、前連結会計年度末に比べ9,826百万円増加しました。これは主に、土地等有形固定資産の増加額6,202百万円、のれん等無形固定資産の増加額2,512百万円等によるものであります。

この結果、総資産は、37,349百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,856百万円増加しました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は8,988百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,995百万円増加しました。これは主に、未払金の増加額5,005百万円等によるものであります。

また、固定負債は12,049百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,002百万円増加しました。これは主に、役員退職慰労引当金の減少額758百万円、最終処分場維持管理引当金の増加額3,374百万円、特別修繕引当金の増加額761百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、21,038百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,997百万円増加しました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は16,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ859百万円増加しました。これは、親会社株主に帰属する中間純利益1,202百万円を計上したこと等による利益剰余金の増加額815百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月15日付の「2025年3月期 決算短信」にて公表しました連結業績予想から修正はございません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,115,702	6,652,369
受取手形及び売掛金	1,129,335	1,088,423
棚卸資産	82,930	96,089
その他	280,222	801,523
貸倒引当金	△2,976	△2,907
流動資産合計	9,605,214	8,635,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	982,680	951,652
機械装置及び運搬具（純額）	810,970	766,502
最終処分場（純額）	4,683,563	9,906,193
土地	5,226,940	5,552,251
建設仮勘定	4,274,086	5,012,621
その他（純額）	78,910	70,016
有形固定資産合計	16,057,152	22,259,237
無形固定資産		
のれん	952,691	3,348,785
施設設置権	40,100	20,049
その他	126,108	262,734
無形固定資産合計	1,118,899	3,631,570
投資その他の資産		
投資有価証券	255,064	256,634
繰延税金資産	652,223	607,704
その他	804,355	1,959,149
投資その他の資産合計	1,711,644	2,823,488
固定資産合計	18,887,696	28,714,296
資産合計	28,492,911	37,349,795

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	35,475	52,818
短期借入金	1,290,000	1,290,000
1年内返済予定の長期借入金	960,522	852,638
未払法人税等	677,721	735,268
未払金	472,294	5,477,482
賞与引当金	148,640	145,252
その他	408,721	435,249
流動負債合計	3,993,375	8,988,709
固定負債		
社債	200,000	230,000
長期借入金	6,872,794	6,466,780
繰延税金負債	87,678	77,846
退職給付に係る負債	52,066	68,762
役員退職慰労引当金	758,000	—
最終処分場維持管理引当金	938,943	4,313,803
特別修繕引当金	—	761,059
資産除去債務	112,571	112,589
その他	25,455	18,699
固定負債合計	9,047,509	12,049,540
負債合計	13,040,885	21,038,249
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	4,923,132	4,948,724
利益剰余金	10,504,329	11,319,972
自己株式	△103,572	△89,023
株主資本合計	15,413,889	16,269,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△472	241
その他の包括利益累計額合計	△472	241
新株予約権	38,609	41,630
純資産合計	15,452,026	16,311,545
負債純資産合計	28,492,911	37,349,795

（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
売上高	5,147,226	5,397,162
売上原価	2,097,338	2,127,707
売上総利益	3,049,887	3,269,454
販売費及び一般管理費	1,138,166	1,282,135
営業利益	1,911,721	1,987,319
営業外収益		
受取利息	1,532	6,118
固定資産売却益	4,293	46,959
不動産賃貸料	4,198	4,736
その他	6,593	8,023
営業外収益合計	16,618	65,838
営業外費用		
支払利息	55,828	65,239
その他	13,250	12,429
営業外費用合計	69,078	77,669
経常利益	1,859,261	1,975,488
税金等調整前中間純利益	1,859,261	1,975,488
法人税等	679,428	772,631
中間純利益	1,179,832	1,202,857
親会社株主に帰属する中間純利益	1,179,832	1,202,857

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	1,179,832	1,202,857
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△30	714
その他の包括利益合計	△30	714
中間包括利益	1,179,802	1,203,571
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	1,179,802	1,203,571

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2025年6月27日開催の取締役会決議に基づき、2025年7月25日付で譲渡制限付株式報酬として自己株式15,600株の処分を行いました。その結果、新株予約権の権利行使を含め、当中間連結会計期間において、自己株式が14,549千円減少しました。以上の結果、当中間連結会計期間末における自己株式が89,023千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間（自2024年4月1日 至2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	3,978,758	969,456	61,257	5,009,472	137,753	—	5,147,226
外部顧客への売上高	3,978,758	969,456	61,257	5,009,472	137,753	—	5,147,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	163,893	4,640	15,888	184,421	390	△184,812	—
計	4,142,652	974,097	77,145	5,193,894	138,143	△184,812	5,147,226
セグメント利益	2,076,499	284,048	42,613	2,403,161	72,332	△563,772	1,911,721

(注) 1. セグメント利益の調整額△563,772千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 3	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	廃棄物処分	収集運搬	仲介管理	計			
売上高							
顧客との契約から生じる収益	4,358,702	935,189	74,148	5,368,041	29,121	—	5,397,162
外部顧客への売上高	4,358,702	935,189	74,148	5,368,041	29,121	—	5,397,162
セグメント間の内部 売上高又は振替高	175,728	4,153	15,847	195,729	2,016	△197,746	—
計	4,534,431	939,343	89,996	5,563,771	31,137	△197,746	5,397,162
セグメント利益又は セグメント損失 (△)	2,357,175	209,747	53,424	2,620,348	△28,196	△604,832	1,987,319

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△604,832千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「廃棄物処分」セグメントにおいて、当中間連結会計期間において大平興産株式会社の全株式を取得し、新たに連結の範囲に含めたことから、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、2,562,109千円であります。

なお、のれんの金額は当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。